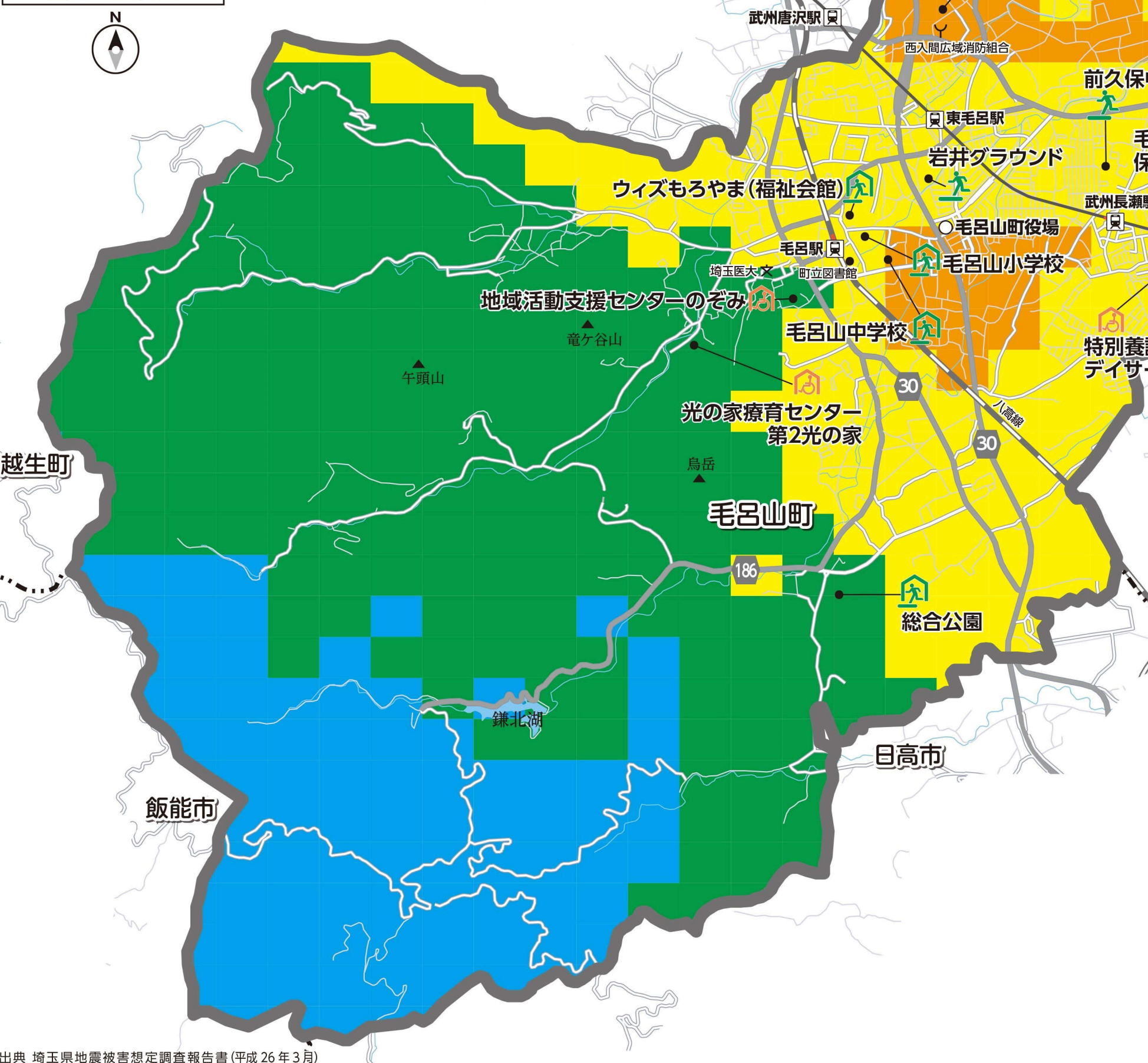


揺れやすさマップ・液状化マップ

揺れやすさとは、地震による地表での揺れの強さで、主に「地震の規模（マグニチュード）」「震源からの距離」「表層地盤」によって、異なります。一般には、マグニチュードが大きいほど、また、震源から近いほど、地震による揺れは大きくなりますが、表層地盤の違いにより揺れの強さは異なります。この揺れやすさマップは、関東平野北西縁断層帯（破壊開始地点：中央）でマグニチュード 8.1 の地震が発生した場合に「地層地盤」も考慮した「揺れやすさ」を表現したものです。

震度	凡 例
7	地図記号
6 強	指定緊急避難場所 兼指定避難所
6 弱	指定緊急避難場所
5 強	福祉避難所
5 弱	町役場
4	消防署
3 以下	

0 0.5 1.0km
縮尺：1/25,000



出典 埼玉県地震被害想定調査報告書(平成 26 年 3 月)

避難するときはこんな格好で



帰宅困難に備えよう

昼間、人口が多い都市部で大地震が発生した場合、交通機関の途絶によって自宅に戻れない「帰宅困難者」になる可能性があります。勤務先や学校から徒歩で帰宅することを想定し、日ごろから準備をしておきましょう。ただし、大規模な災害時には安全確保のため「むやみに移動を開始しない」ことも重要です。企業や学校など、施設内での待機も検討してください。

防災グッズを用意する
携帯ラジオ、ヘルメット(帽子)、スニーカー、携帯食料、懐中電灯、革手袋、地図、寒暖対策用品など

帰宅地図を用意する
災害の状況によっては、道路が通行不能になる場合もあるので、複数の帰宅ルートを決めておくとういでしょう。

家族との連絡方法を決めておく
地震が発生すると、家族や親類とは簡単に連絡をとることができません。事前に以下のような項目に関して、家族全員で確認しておくことが重要です。

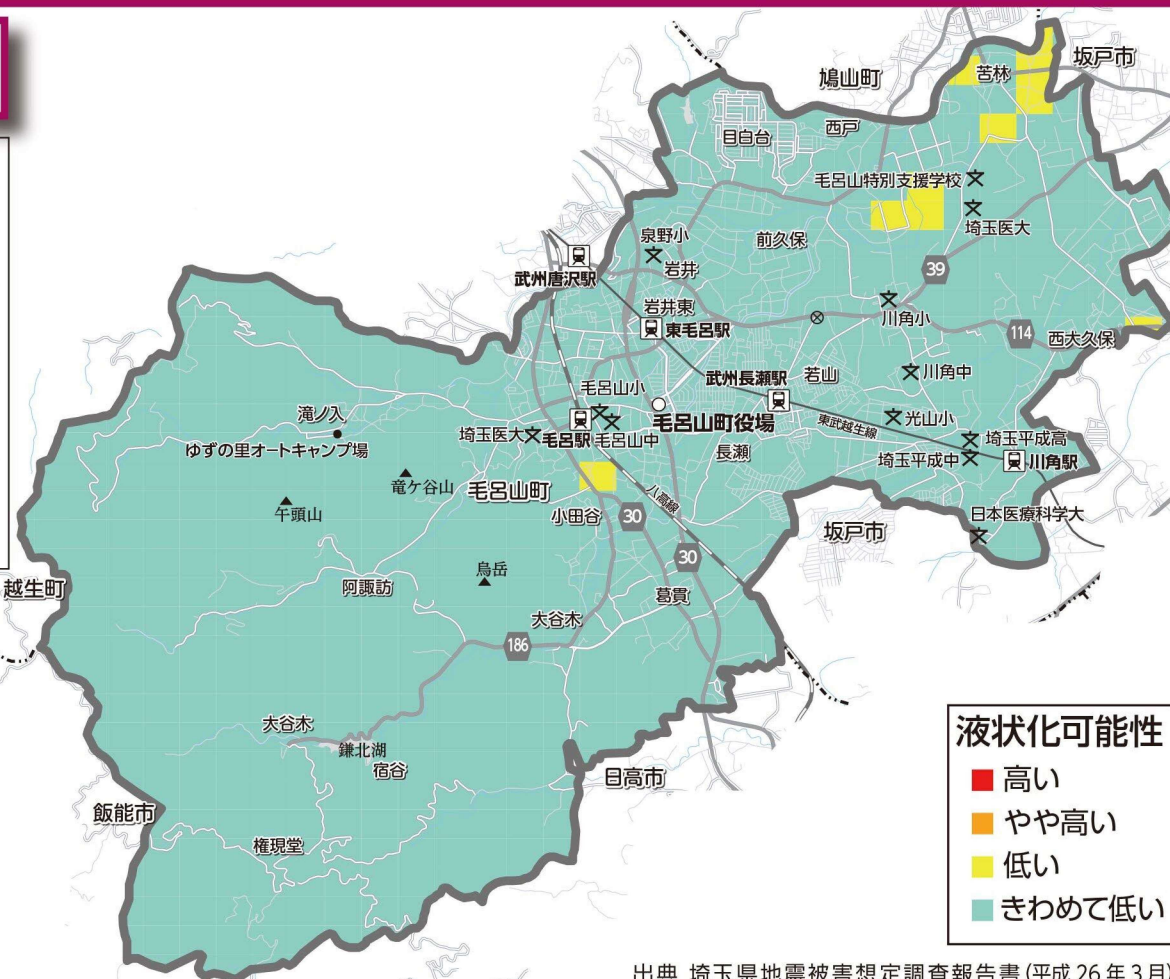
- 災害時の安否確認の方法
- 家族の集合場所
- 徒歩帰宅する場合のルート



液状化マップ

液状化とは、地震の際に地下水位の高い砂地盤が振動により液状化する現象です。埋立地や河口など砂質の地盤で起こり、地盤の上の建物を傾けたり、または沈ませたり浮き上がらせたりします。この液状化マップは、関東平野北西縁断層帯(破壊開始地点：中央)マグニチュード 8.1 の地震が発生した場合の液状化の危険度を表現したものです。

0 1.0 2.0km
縮尺：1/60,000



液状化可能性
■ 高い
■ やや高い
■ 低い
■ きわめて低い

出典 埼玉県地震被害想定調査報告書(平成 26 年 3 月)